

2016年11月12日（土）

## ボランティア体験談

当初、必要に駆られて始めたことが、地域デビューがボランティアの始まりだった。

現在主になっている大阪狭山キジムナーの会の活動（表現倶楽部うどい、さやま未来プランナーの活動サポート）は、地域に住む子どもたちが、10代の一番キラキラしている時代を後悔しないように過ごしてほしいという思いからであった。なぜなら、自分がその年代、自分を持たず、自分のことは自分で決める力がなかったから。サポート活動を行っているうちに過去の自分を否定する自分がいなくなり、ボランティアを通して自己受容を高めることとなった。

ボランティア活動は、誰かのお役に立つだけでなく、その活動を通して自分に沢山の気づきと変化をくれるものであった。

今後も活動を通して、自分に役割があることに感謝し、地域に恩返しをしていきたいと思っている。